

平成28年度支部事業報告書

平成28年2月1日から平成29年1月31日まで

支部名： 関東支部

支部長名： 新井洋由

1 支部活動の概要報告

(特記事項含む)

・第60回関東支部大会は、東京大学本郷キャンパスにて「薬学研究のさらなる発展に向けて」を大会テーマとして開催され、569名の参加があった。一般講演(138件)、ポスター発表(69件)に加え、シンポジウム(3件)、奨励賞授賞講演(3名)が行われ、いずれにおいても活発な討論が行われ盛会であった。

・若手シンポジウムは、「薬学に貢献する生合成研究」をテーマに、5名の新進気鋭のシンポジストを招いて第60回関東支部大会と同時開催された。約30名の参加があり、活発な議論が交わされた。

・第41回学術講演会は「創薬ターゲットとしての脂質機能解析の新展開」と題し、脂質関連分子の新たな生体内機能解析、構造解析、有機化学からのアプローチについて、主に薬学分野で活躍されている先生方に最新の知見を紹介していただき、活発な議論、意見交換がなされた。

・市民講座は長井記念ホールで年2回開催した。くすりと健康に関する話題として、今年は歯、製剤、漢方、薬局を取り上げ、演者の先生方には各トピックスを健康と結びつけながら市民にわかりやすく情報提供していただき、毎回100名以上の参加者で盛会であった。

・薬剤師向け研修講演会を栃木県で開催した。「ポリファーマシーへの薬学的アプローチ」をテーマとし、「薬物間相互作用」、「副作用早期発見」、「不適切処方の検出」の観点から、基礎から実践までの講演をお願いした。参加者数は予想を大幅に上回るものであり盛況であった。

・子ども実験企画は小学4～6年生を対象に行われた。東京からアステラス製薬つくば研究センターまでのバスツアー、講義、研究所見学や口腔内崩壊錠作製、溶解実験、ピペット操作等実験器具に触れる体験など、薬学に親しみ、楽しむ夏休み一日体験学習であった。

2 支部活動の実施報告

1 支部総会等の開催				
名称	日時	場所	参加者数	特記事項
第60回支部総会 第60回支部大会	2月5日 9月17日	長井記念ホール 東京大学本郷キャンパス	73名 569名 一般192名 学生337名 非会員40名	事業報告・収支計算書の承認 他 「薬学研究のさらなる発展に向けて」 シンポジウム 3件 「薬学における最先端解析研究」「分子を基盤とした薬学生物研究」「創薬合成の最先端」 一般発表207件(口頭138 ポスター69)
2 事業				
名称	日時	場所	参加者数	特記事項
第41回学術講演会	11月19日	長井記念ホール	57名	「創薬ターゲットとしての脂質機能解析の新展開」 「生理活性リゾリン脂質と病態」 (東北大院薬) 青木淳賢 「脂質関連タンパク質の構造生物学的研究」 (東大院薬) 清水敏之 「脂溶性シグナル分子による核内受容体機能制御と医薬展開」(医科歯科大生材研) 影近弘之 「セラミドによる皮膚バリア形成の分子機構と病態」 (北大院薬) 木原章雄 「Fatty Acid Amide Hydrolase 阻害薬の創製」 (大日本住友製薬) 足立圭司
第9回若手シンポジウム	9月17日	東京大学山上会館 (支部大会併催)	30名	「薬学に貢献する生合成研究」 「放線菌由来、二次代謝産物の生産に用いられる新規亜硝酸生合成経路」(東大院薬) 勝山陽平 「休眠型糸状菌二次代謝物の開拓を基盤とする創薬シーズ探索」(東大薬) 浅井禎吾 「Actinorhodin生合成に関わる酸素添加酵素の機能解析」 (武蔵野大薬) 田口貴章

市民講座	5月14日	長井記念ホール	131名	「ポリケタイド生合成におけるアシルキャリアータンパク質認識機構」(東工大) 宮永顕正 「放線菌ゲノム縮小株を宿主とした二次代謝産物生合成遺伝子の異種発現」(北里大) 小松護 「くすりと健康2016春季講演会」 「お口と健康のはなし」(昭和大歯科病院) 丸岡靖史 「きちんと楽に飲めるくすり 教えます」(静岡県大薬) 並木徳之
	10月22日	長井記念ホール	124名	「くすりと健康2016秋季講演会」 「漢方薬で風邪を治す」(横浜薬大) 石下敦 「身近な健康相談から、在宅訪問まで」(昭和薬大) 串田一樹
薬剤師向け研修講演会	7月3日	栃木県総合文化センター	240名	「ポリファーマシーへの薬学的アプローチ」 「薬物代謝酵素の個人差と相互作用」山崎浩史(昭和薬大) 「薬剤師によるフィジカルアセスメント」大林恭子(群馬大病院薬)
子ども実験企画	7月27日	アステラス製薬 つくば研究センター	小学生23名 保護者18名	「神戸大学医学部附属病院におけるポリファーマシー対策」(神戸大病院薬) 平井みどり 日病薬、研修センター いずれか2単位 「薬作りに挑戦！ ー実際の研究機器に触れてみよう」 講義、センター見学、実験学習(「飲み薬を作ってみよう」「ピペッターで絵を描いてみよう」他)
協賛	第4回千葉大学共用機器センターセミナー(9月30日 千葉大学西千葉キャンパス) 第26回光学活性化化合物シンポジウム(11月25日 長井記念ホール)			

3 奨励表彰(名称)	受賞者名	演題・対象研究
支部奨励賞(3名)	野村渉(医科歯科大生材研)	生体分子間相互作用を基盤とする機能分子の創製とケミカルバイオロジーへの展開
	佐藤聡(東京理大薬)	がん細胞のネクローシス/アポトーシス切替え制御機構の解明と新規がん戦略
	金沢貴憲(東京薬大)	非侵襲的な脳内への薬物送達技術の開発と脳神経疾患治療への応用
支部大会 優秀口頭発表賞(5名)	笹田学(東京理大薬)	N-Myc 分解を基盤とした悪性神経芽腫に対する新規分化誘導療法
	田邊ひより(慶應大薬)	腸内細菌由来の代謝物による自己免疫性疾患抑制作用の検討
	中村優生(北里大薬)	ボロン酸触媒を用いたポリオール類の位置選択的アシル化反応
	松尾直也(立教大理)	共役因子を含むPPARs/アゴニスト複合体の理論的解析
	岩井隆暁(千葉大院薬)	薬物ナノ粒子の分散安定化剤HPMCの分子量が経口吸収性に及ぼす影響
支部大会 優秀ポスター賞(4名)	奥住彩香(慶應大薬)	リポソームを用いたサプリメント成分の抗酸化評価法の検討
	三森皐介(昭和薬大)	細胞移動・伸展におけるIRBITファミリーの役割
	道鎮えりか(東京薬大)	デュシェンヌ型筋ジストロフィー横隔膜治療に向けた核酸搭載型パブリリポソームの開発とその有用性評価
	岡田美紗希(東京薬大)	胎盤絨毛の機能に不可欠な栄養膜細胞の分化におけるcAMPシグナル仲介因子EPAC2の役割

4 会議等の開催			
名称	日時	場所	特記事項
支部幹事会(第1回)	2月5日	長井記念ホール	活動計画と事業準備状況について 他
〃(第2回)	9月17日	東京大学薬学総合研究棟講堂	事業報告、次年度事業計画、予算案の提出について 他
〃(第3回)	平成29年2月15日	長井記念ホール	事業報告、収支決算案について 他
新旧執行部会	2月5日	長井記念館	新旧役員引継
執行部会(第1回)	8月4日	長井記念館	次年度事業計画・予算概案の提出について 他
〃(第2回)	9月21日	長井記念館	次年度事業計画・予算概案について 他
〃(第3回)	12月22日	長井記念館	事業報告提出について 他
〃(第4回)	平成29年1月25日	長井記念館	事業報告、収支決算案について 他
監査会	2月3日	長井記念館	平成27年度決算について承認
奨励賞選考委員会	7月1日	長井記念館	応募11件から授賞者3名を決定

* 当該支部の該当項目に限りご記入ください。